

第一回 IT マネジメント研究会 初心者編（東京） 議事録

日時： 2010/09/17（金） 15:00～17:00

会場： クオリティ（株） 本社 6F 会議室

テーマ： クライアント PC 管理の光と影～熟練管理者が様々な経験から最適策を語る～

講師： 中俣 幸二 様

株式会社リコー

IT/S 本部 IT/S 技術センター サーバグループ リーダー

司会・進行： IT マネジメント研究会 初心者編 座長

月島食品工業株式会社

総務部 情報システム室 室長代理 吉原 徹 氏

※当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

今回のテーマの中でも参加者の皆さんから、クライアント PC の調達に関する経営層の説得方法や、本社、グループ会社によるセキュリティポリシーの違い、グループ会社への監査について、中国出張時のデータ暗号化など、幅広いジャンルの質問がでました。

■クライアント PC の調達に関しては、経営層は壊れていないクライアント PC を新しくすることがコストの無駄だと捉えがちで新調しにくいという意見がありました。その際の対応として、経営層に一番低スペックな PC を利用させることで古い PC を使うことは生産性のロスであるという実体験させるという案がありました。

■猛威を振っている USB メモリウイルス被害にあった企業からは各社の対策についての質問が出ました。ウイルス被害にあった会社は、自社ではなく社内にある協力会社の PC が USB メモリウイルスに感染したということです。その対策の一つとして、どうしても USB メモリを利用しなければならない場合は、検査機のように一旦スタンドアロン PC に USB メモリを差してウイルスチェックをしてから持ち込むようにしているという事例が紹介されました。

■クライアント PC のセキュリティ対策として、どの部署を一番厳しく設定しなければならないのかという質問に対しては、PC の持ち出しが多く、紛失のリスクのある営業部署や、ポリシーの異なる協力会社等の意見のほか、自分たちのシステム管理部門こそリスクとなるという意見がでました。また自分たちの目の届きにくい、海外にある支店や工場の PC 管理やセキュリティ対策に関しては、対策未実施の企業から海外の管理は海外拠点任せにしている企業、日本のポリシーを適用させている企業など、日本国内ほど PC 管理の徹底は出来ていないようでした。

■海外での PC 管理の話が発展し、中国では許可が必要な暗号化製品の持ち込みに関する質問では、パスワードや暗号化等は必要だが、根本的にハードディスク内に重要なデータを残さない運用にすべき、本社のサーバにネットワークで接続するのがいいといった意見が出されました。

■最後に iPhone 等のスマートフォンは PC の社内持ち込みに該当しないか？という質問では、社内ネットワークに繋がせるか、つなげないかで判断している企業が多く、電話として取り扱うことで無線 LAN につなげない規定にしたという事例が紹介されました。